

2018年(2018年1月～12月) 学会発表等一覧

学会名等	職種	発表者	演題名
第2回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	PT	山田将成	脳卒中片麻痺患者の歩行速度の変化に対するToe clearanceと異常歩行の変化
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018	PT	水谷浩二	脳卒中片麻痺に対する無動力支援機ACSIVE使用の即時効果
	PT	監崎光希	回復期脳卒中患者の栄養状態とFIM利得の関係 入院時重症度別の検討
	ST	柿森健志	認知機能に合わせた介入により脳梗塞発症後に電動式人工喉頭の操作を獲得した症例
	NS	奥原幸子	間歇的経管栄養法の導入
リハビリテーション・ケア合同研究大会 米子2018	ST	森田秋子	シンポジスト「チームのなかで療法士の専門性を研く-PT・OT・ST5か条のメッセージ」 主催団体シンポジウム
臨床・実用先進リハビリテーションカンファレンス	ST	伊藤 梓	回復期における脳血管疾患患者の高次脳機能障害の重症度の推移とADL関連 —CBAを用いて—
神奈川県回復期リハビリテーションソーシャルワーク研究会 第7回多職種リハビリ勉強会Medical Joint Festival	ST	森田秋子	シンポジスト「いまなぜ意思決定支援？ 支援者の在り方を考える」
日本リハビリテーション医学会 第55回学術集会	Dr.	津金慎一郎	回復期リハビリテーション病棟における脳腫瘍に対するリハビリテーション医療
回復期リハビリテーション病棟協会 第31回研究大会 in岩手	PT	牧 芳昭	回復期リハビリテーション病院退院後における大腿骨近位部骨折患者の屋外歩行自立に影響する因子の検討
	OT	友添 志保	チーム連携した集団レクリエーションの実施に向けて
	ST	荻野真維	コミュニケーション評価の現状と課題
愛知県理学療法学会	PT	細井雄一郎	脳卒中患者に対する10m歩行テストにおける最小可検変化量を用いた測定誤差の推定 -歩行速度別での検討-
	PT	新海友実子	脳卒中片麻痺患者に対する下肢へのCI療法について
	PT	原田悠亮	脳卒中の歩行速度変化に伴うCadenceおよびStride長の関係性
	PT	石野晶大	麻痺側補高を使用した歩行練習が脳卒中患者の代償動作学習に与える影響
日本神経系理学療法学術集会 第7回日本支援工学理学療法学会	PT	牧 芳昭	重症脳幹出血により両片麻痺・四肢体幹の運動失調を呈した患者に対する装具療法～体幹付き両長下肢装具の使用経
第18回 東海北陸作業療法学会	PT	佐野敬太	股関節離断術後患者の歩行自立に向けた取り組み
	OT	小川紗知	多様な高次脳機能障害に対しスマートフォンを補助手段として用いた症例
第19回 日本言語聴覚学会	OT	松林大成	食事時の座位姿勢に着目しシーティングを行い、自己摂取が可能になった症例
第13回 愛知県言語聴覚士総会・学術集会	ST	伊藤梓	回復期退院時における脳血管疾患患者の認知機能の重症度とADLの関係
第41回 日本高次脳機能障害学会学術集会	ST	丹羽路子	重度失語症患者の認知機能評価の難しさと重要性-行動観察からの評価を通して-
第13回 愛知県言語聴覚士会総会・学術集会	ST	河村鐘子	認知関連行動アセスメントに用いる情報の質の検証
全国リハビリテーション学校協会 第5回東海ブロック教育部研修会 教育講演	ST	小林瑞穂	ワレンベルグ患者の早期在宅復帰支援-回復期STの役割-
常滑市民病院講演会	ST	小林瑞穂	「ひとりひとりの学生に合った教育方法を考える-自分の指導を振り返って-」
愛媛県看護協会講演会	NS	猪川まゆみ	回復期リハビリテーション病棟 ケア10項目宣言
	NS	猪川まゆみ	回復期リハビリテーション病棟 ケア10項目宣言

書物・雑誌名	職種	著者	出版社・内容等
現場が伝える言語聴覚士の生活期リハビリテーション	ST	森田秋子	医歯薬出版株式会社 2018/6/25発行 (執筆・編集)
現場が伝える言語聴覚士の生活期リハビリテーション	ST	伊藤 梓	医歯薬出版株式会社 2018/6/26発行 (執筆・編集協力)
リハビリナース 2018 VOL.11 NO. 3	NS	猪川まゆみ	メディカ出版 「回復期リハビリテーション病棟協会 ケア10項目宣言」
中部リハビリテーション雑誌2018 Vol.13	PT	牧 芳昭	回復期から生活期における歩行非対称性と歩容の変化・意識を調査した脳卒中片麻痺の一例